

# 除染の進捗状況について

平成27年3月  
環境省除染チーム

# 放射性物質汚染対処特措法に基づく除染等の措置

## ①除染特別地域(国直轄地域)

### 環境大臣による 除染特別地域の指定

※旧警戒区域・計画的避難区域に  
たむらし みなみそうまし かわたまたち  
相当(田村市、南相馬市、川俣町、  
ならはまちとみおかまち かわうちむら おおくままち  
檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、  
ふたばまちなみえまちはつらおむらいいたむら  
双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の  
11市町村)



環境大臣による特別地域内  
除染実施計画の策定

国による除染等の措置等の実施

## ②汚染状況重点調査地域 (市町村除染地域)

環境大臣による対象地域の指定  
(放射線量が1時間当たり0.23マイクロシーベルト  
( $\mu\text{Sv/h}$ )以上の地域)

※0.23 $\mu\text{Sv/h}$ は汚染状況重点調査地域の指定基準であり、除染の目標ではない。(注)

市町村長による調査測定

市町村長による除染実施計画策定

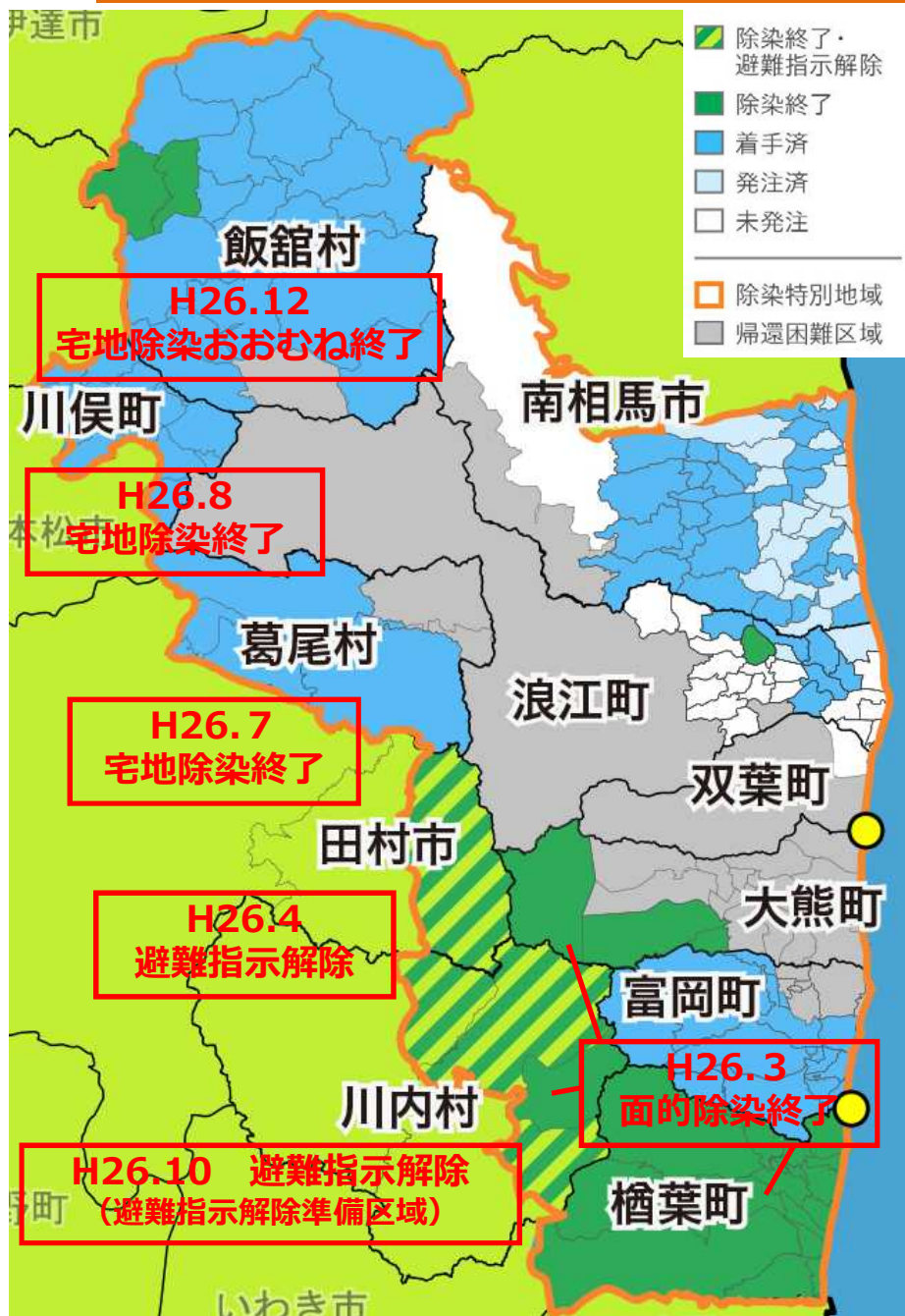
市町村長は除染実施計画に基づき  
除染等の措置等を実施  
(国が予算措置)

(注)一日24時間のうち、①8時間は屋外で過ごす②16時間は遮蔽率の低い(0.4)木造住宅で過ごす、という慎重な仮定の下で、個人線量1mSv/yを空間線量に換算。

原子力事業所内の土壌等の除染等の措置及びこれに伴い生じた除去土壌等の処理

関係原子力事業者(東京電力)が実施

# 国直轄除染の進捗状況(平成27年3月現在)



## 【各市町村等の状況と今後のスケジュール】

田村市	平成25年6月に面的除染終了 平成26年4月1日に避難指示解除
川内村	平成26年3月に面的除染終了 平成26年10月1日に避難指示解除準備区域の避難指示解除
檜葉町	平成26年3月に面的除染終了
大熊町	平成26年3月に面的除染終了
常磐自動車道	平成25年6月に除染終了 (平成26年2月22日に広野IC-常磐富岡IC間が再開通) (平成26年12月6日に浪江IC-南相馬IC間が開通) (平成27年3月1日に浪江IC-常磐富岡IC間が開通)
葛尾村	平成26年7月に宅地除染終了 平成27年内に残りの除染終了を目指す
川俣町	平成26年8月に宅地除染終了 平成27年内に残りの除染終了を目指す
飯館村	平成26年12月に宅地除染おおむね終了 平成28年内に残りの除染終了を目指す
南相馬市	平成27年度内に宅地除染終了を目指す 平成28年度内に残りの除染終了を目指す
浪江町	津波被災地域を除く地域については平成27年度内に除染終了を目指す 津波被災地域については平成27年度内に宅地除染終了を、平成28年度内に残りの除染終了を目指す
富岡町	平成27年度内に宅地除染終了を目指す 平成28年度内に残りの除染終了を目指す
双葉町	平成27年度内に除染終了を目指す

# 国直轄除染の進捗状況①(平成27年2月20日時点)

対象11市町村のうち、全市町村で除染計画を策定、6市町村で全域又は一部地域において除染の作業中。  
田村市、檜葉町、川内村、大熊町で除染計画に基づく面的除染が終了。

	除染対象 区域 人口(人) (概数)	除染対象 面積 (ha)(概数)	区域 見直し	除染の進捗状況 (終了以外の市町村は平成27年2月20日時点)				スケジュール		避難指示 解除	
				除染計画	仮置場等	同意取得	除染作業	宅地終了	残り終了		
面的除染終了	田村市	400	500	H24/4	H24/4	確保済み	終了	H25/6 終了	25年度(すでに終了)		H26/4
	川内村	400	500	H24/4	H24/4	確保済み	終了	H26/3終了	25年度(すでに終了)		避難指示解除 準備区域は H26/10
	檜葉町	7,700	2,100	H24/8	H24/4	確保済み	終了 (ほぼ終了)	H26/3終了	25年度(すでに終了)		未定
	大熊町	400	400	H24/12	H24/12	確保済み	終了	H26/3終了	25年度(すでに終了)		未定
宅地除染終了等	葛尾村	1,400	1,700	H25/3	H24/9	確保済み (約3割)	ほぼ終了	作業中	26年夏 (すでに終了)	27年内	未定
	川俣町	1,200	1,600	H25/8	H24/8	約9割 (約8割)	ほぼ終了 (約9割)	作業中	26年夏 (すでに終了)	27年内	未定
	飯舘村	6,000	5,600	H24/7	H24/5	確保済み (約5割)	約9割 (約8割)	作業中	26年内 (おおむね終了)	28年内	未定
除染作業中・準備中	南相馬市	13,300	6,100	H24/4	H24/4	約8割 (約6割)	約7割 (約3割)	作業中	27年度	28年度	未定
	浪江町	18,800	3,300	H25/4	H24/11	約4割 (約2割)	約7割 (約4割)	作業中	27年度	28年度	未定
	富岡町	11,300	2,800	H25/3	H25/6	確保済み (約4割)	約9割 (約2割)	作業中	27年度	28年度	未定
	双葉町	300	200	H25/5	H26/7	調整中	準備中 (調整中)	準備中	27年度		未定

注) 仮置場として確保が必要な面積は、今後の精査によって変わらう。

注) 終了の市町村について、未同意の方等の同意取得を実施し同意を頂いた場合等は、除染を実施予定。

注) 「仮置場等」「同意取得」欄の括弧内は前回環境回復検討会(第13回:平成26年1月30日)時点のもの。変更がない場合は省略。

注) 括弧内は平成26年2月21日時点の値(第11回環境回復検討会(平成26年3月20日)にて報告)。変更がない場合は省略。

## 国直轄除染の進捗状況②(平成27年2月20日時点)



- ・除染等工事の進捗状況(実施率・発注率)は以下のとおり。
- ・括弧内は第11回環境回復検討会にて報告された平成26年2月21日時点の値。変更がない場合は省略。

(単位:%)

平成27年 2月20日 時点	田村市		川内村		檜葉町		大熊町		葛尾村		川俣町		飯舘村		南相馬市		浪江町		富岡町	
	実施率	発注率	実施率	発注率	実施率	発注率	実施率	発注率	実施率	発注率	実施率	発注率	実施率	発注率	実施率	発注率	実施率	発注率	実施率	発注率
宅地	100	100	100	100	100 (97)	100	100 (89)	100	100 (59)	100	100 (17)	100	96 (9)	100	7 (-)	99.9 (26)	11 (0.1)	48 (4)	17 (-)	100 (50)
農地	100	100	100 (98)	100	100 (94)	100	100 (40)	100	68 (0.1)	100	18 (5)	100	25 (4)	100 (40)	8 (0.3)	65 (46)	13 (-)	35 (15)	5 (0.2)	100 (42)
森林	100	100	100	100	100 (98)	100	100 (76)	100	99.9 (99)	100	56 (14)	100	38 (5)	100 (45)	34 (0.4)	79 (43)	14 (2)	43 (14)	28 (0.1)	100 (62)
道路	100	100	100	100	100 (84)	100	100 (75)	100	32 (1)	100	4 (0.3)	100	24 (0.9)	100 (28)	2 (0.2)	65 (21)	20 (-)	46 (23)	61 (11)	100 (51)

注1) 実施率は、当該市町村の除染対象の面積等に対する、一連の除染行為(除草、堆積物除去、洗浄等)が終了した面積等の割合。

注2) 発注率は、当該市町村の除染対象の面積等に対する、契約済の面積等の割合。

注3) 除染対象の面積等・発注面積等・除染行為が終了した面積等は、いずれも今後の精査によって変わりうる。



# 汚染状況重点調査地域における除染の進捗状況①

子どもの生活環境を含む公共施設等は、福島県内、県外ともに約8割以上の進捗を示すなど予定した除染の終了に近づいている。その他、住宅、農地・牧草地、道路、森林(生活圏)の除染についても、福島県内、県外とも既に約7割以上が発注されているなど、着実な除染の進捗が見られる。

なお、福島県外の58市町村については、約8割の市町村において除染等の措置が完了(18市町村)又は概ね完了(27市町村)している。(平成26年12月末時点)

○「汚染状況重点調査地域」として指定を受けている市町村：  
(当初)104市町村 → (現在)99市町村

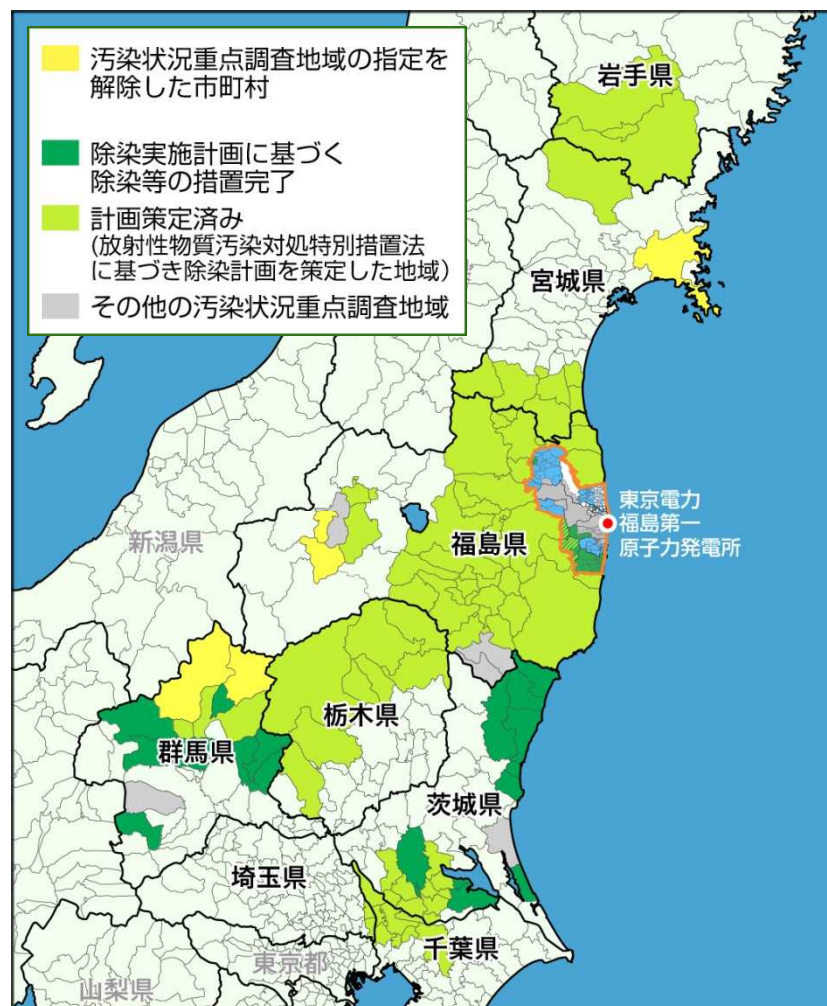
指定要件を満たさなくなれば、指定を解除することができる。  
これまでに線量低下などの理由で5市町村が指定解除

○除染実施計画策定済み：94市町村  
(当面策定予定の市町村全て)

○計画に基づく除染等の措置完了等：45市町村  
(完了:18市町村 概ね完了:27市町村。引き続きモニタリング等を実施)

○計画に基づく除染等の措置継続中：49市町村  
各市町村の除染実施計画は、福島県内は27～28年度、それ以外は24～25年度を計画期間の終了時期とする市町村が多い

○福島県内における進捗状況(平成27年1月末時点)  
公共施設等:約8割 住宅:約6割 道路:約4割  
福島県外における進捗状況(平成26年12月末時点)  
学校・保育園等:ほぼ終了 住宅:約9割 道路:約9割



# 汚染状況重点調査地域における除染の進捗状況②

## ○福島県内

平成27年1月末時点

都道府県名	市町村数	汚染状況重点調査地域として指定された市町村		
		計画策定済		当面策定 予定なし
		完了	除染作業中等	
福島県	39		福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、会津坂下町、湯川村、会津美里町、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町、広野町、新地町、田村市、南相馬市、川俣町、川内村(36)	柳津町、矢祭町、塙町(3)
計	39	0	36	3

## ○福島県外

平成26年12月末時点

都道府県名	市町村数	汚染状況重点調査地域として指定された市町村			
		計画策定済			当面策定 予定なし
		完了※1	概ね完了※2	継続※3	
岩手県	3		奥州市、平泉町(2)	一関市(1)	
宮城県	8		七ヶ宿町、大河原町、亘理町(3)	白石市、角田市、栗原市、丸森町、山元町(5)	
茨城県	20	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、稲敷市、東海村、美浦村、阿見町(11)	土浦市、龍ヶ崎市、常総市、取手市、守谷市、つくばみらい市、利根町(7)	牛久市(1)	鉾田市(1)
栃木県	8		佐野市、鹿沼市、矢板市、塩谷町(4)	日光市、大田原市、那須塩原市、那須町(4)	
群馬県	10	桐生市、渋川市、みどり市、下仁田町、中之条町、東吾妻町、川場村(7)	沼田市(1)	高山村(1)	安中市(1)
埼玉県	2		三郷市、吉川市(2)		
千葉県	9		松戸市、野田市、佐倉市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、印西市(8)	白井市(1)	
計	60	18	27	13	2

※1・・・除染実施計画に基づく除染等の措置は完了している。

※2・・・平成26年12月末時点で除染実施計画に基づく除染等の措置は完了しているが、未測定施設等における測定結果や、国(国有施設の管理者)や県(県有施設の管理者)等との調整により、必要に応じて除染実施計画を改訂して除染等の措置を継続する可能性がある。

※3・・・平成27年1月以降も除染実施計画に基づく除染等の措置を実施する予定である。

## 汚染状況重点調査地域における除染の進捗状況③

福島県内 (平成27年1月末現在)	発注割合 (発注数/計画数)	実績割合 (実績数/計画数)
公共施設等	ほぼ発注済み(約8割)	約8割
住宅	約9割	約6割
道路	約7割	約4割
農地・牧草地	ほぼ発注済み(約9割)	約7割
森林(生活圏)	約7割(約8割)	約6割(約4割)

注)・福島県が行った調査結果を基に作成。

・計画数は平成27年3月末までの累計となっており、今後増加する可能性もある。

・単位は以下のとおり。

公共施設等:施設数、住宅:戸数、道路:距離、農地・牧草地:面積、森林(生活圏):面積

・括弧内は平成26年11月末時点の値(第13回環境回復検討会(平成27年1月30日)にて報告)。変更がない場合は省略。

福島県外 (平成26年12月末現在)	発注割合 (発注数/予定数)	実績割合 (実績数/予定数)
学校・保育園等	発注済み	ほぼ終了
公園・スポーツ施設	ほぼ発注済み	約9割
住宅	ほぼ発注済み(約9割)	約9割
その他の施設	約9割(約8割)	約9割(約8割)
道路	約9割	約9割
農地・牧草地	発注済み	ほぼ終了
森林(生活圏)	ほぼ発注済み	約7割(約5割)

注)・予定数は平成26年12月末時点で具体的に予定のある数を含めた累計であり、今後増加する可能性もある。

・単位は以下のとおり。

学校・保育園等:施設数、公園・スポーツ施設:施設数、住宅:戸数、その他の施設:施設数、道路:距離、農地・牧草地:面積、森林(生活圏):面積

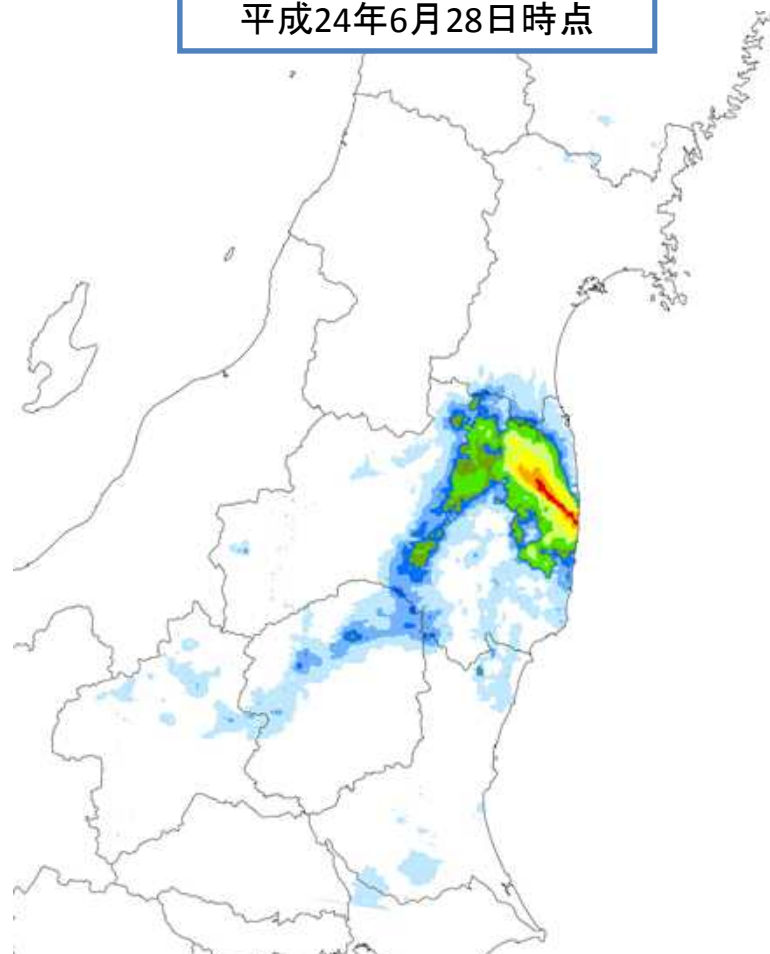
・括弧内は平成26年9月末時点の値(第13回環境回復検討会(平成27年1月30日)にて報告)。変更がない場合は省略。



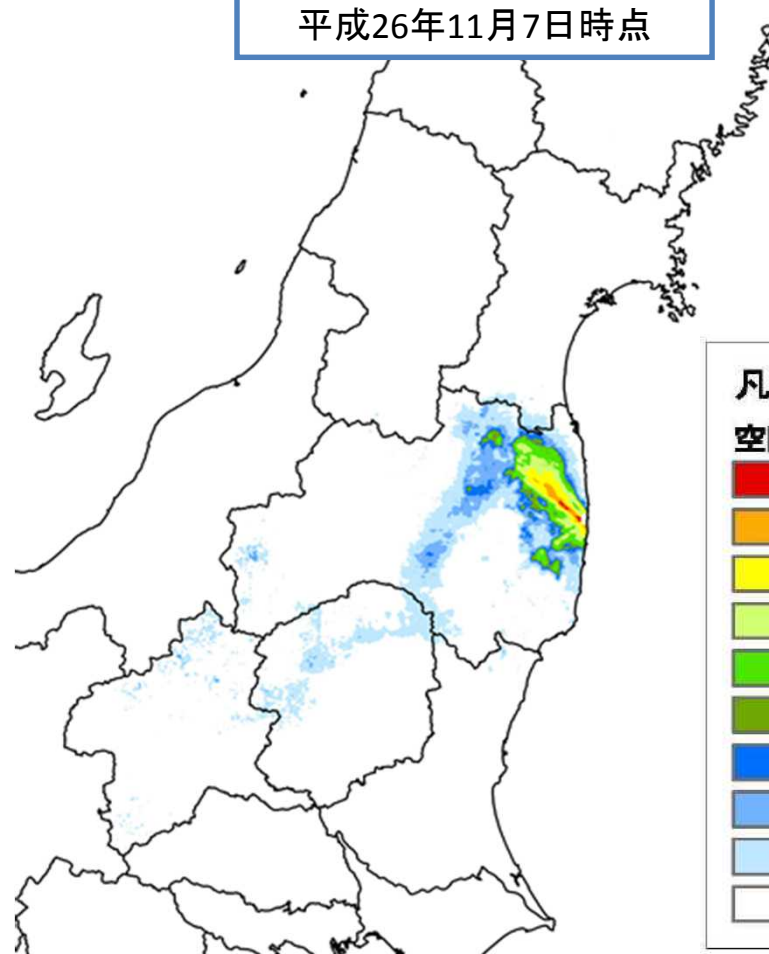
# 空間線量率の状況について

- ・放射性物質の物理的減衰等により、空間線量率は低減しており、特に福島県外の地域において、汚染状況重点調査地域の指定の要件である $0.23\mu\text{Sv/h}$ を下回る地域が増加しつつある。

平成24年6月28日時点



平成26年11月7日時点



注1) 放射線モニタリング情報 (<http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/index.html>) より環境省作成。

注2) 左図において、積雪のあった地域及びその周辺における空間線量率は、雪の遮蔽により、雪がない時に比べて減少している可能性がある。